



医療法人 創起会

くまもと森都総合病院

病院だより
2018年 10月 第18号



ご挨拶

今夏は連日の記録的な猛暑とともに台風、水害、地震など自然災害が続きましたが、漸く秋が訪れ過ぎしやすい時期となりました。皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃、何かとご指導・ご支援賜り、厚く御礼申し上げます。

懸案の一つであった長い待ち時間の解消や駐車場の渋滞緩和を目指して、9月から全診療科で外来診療の完全予約制を導入し、予約窓口を「外来予約センター」に一元化しました。できるだけ混乱なく、スムーズに対応できるよう努力していますが、まだまだ課題も多く、スッキリ運用できるようになるまでには今少し時間を要するようです。鋭意努力して参りますので、ご容赦下さい。

今回の「病院だより」から、診療内容や実績、特長、担当医など各診療科の紹介を順次、シリーズで掲載することにしました。何卒、よろしくご高覧ください。

引き続き、ご指導・ご鞭撻賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

医療法人創起会 くまもと森都総合病院
理事長・院長 藤山重俊



当院乳腺センターは、平成27年4月に新設されました。女性のがんの中で最も多いのが乳がんです。年齢のピークは2つ、40代後半と60代前半です。他のがんと比べて若い方に多いのが特徴で、女性ホルモンの関与があると言われていています。しかし、最近では閉経後の方も増加しています。日本では女性の11人に1人が乳がんになるといわれています。熊本県においても女性がかかるがんの中で、すでに第一位です。海外においても乳がんの患者さんは増加していますが、死亡率は日本と違って1990年代から減ってきています。この原因はマンモグラフィによる乳がん検診の普及と治療の進歩と考えられています。乳がんの診療で重要なことは早期発見です。さらに、正確な病理診断から得られるがんの性格および広がり診断、そして

手術前後の適切な治療です。乳がんの診療は世界的に飛躍的に進歩しており、その研究も日進月歩です。当センターでは、専門性を持ったスタッフが十分な知識を持って診断と説明に努め、何でも相談できる環境作りを目指すとともに、各部門との連携をとり、患者さんの満足が得られるようにチームで取り組んでいます。

一乳腺センターで現在行っている業務一

・乳腺疾患診療

診断－手術－術前・術後治療－術後follow－再発診断－再発治療－緩和への全過程に関わっています。

・乳癌手術

手術例は県下随一(昨年:400例超)であり、かつ年々増加しています。

・チーム医療

毎月チーム医療研究会を開催、複数の医療専門職がチームとして患者さんへ対応しています。

・患者さんによりそった医療の提供

とくに若い方への妊孕性の問題、保険適用となった乳房再建手術、そして遺伝学的検査(遺伝カウンセリングなど)への対応も県内ではいち早く取り組んでいます。患者会への支援および患者会によるピアサポートの支援を行っています。

・乳がん死亡 ゼロを目指して

治験、臨床試験も積極的に行っています。乳がん検診も行っています。(治療を専門とする施設ですが、検診受診率もまだ低い状況であり検診施設が少ないことから実施)

一今後の課題として一

- ・がん診療拠点病院として臨床試験・臨床研究は重要であり、さらに最先端を目指して研究に臨みたい。
- ・診断－手術－化学療法－緩和までを一貫して行う当センターの維持・発展させたい。
- ・看護師、臨床検査技師などコ・メディカルの方々の専門性を生かし、チーム医療のさらなる充実を計りたい。



手術症例数の変遷(H27年度～H29年度)

| | 初 発 | | | 再 発 | | 良 性 | そ の 他 | 合 計 (件) |
|-------|--------------|------|------|------|--------|--------|-------|------------|
| | 乳房切除 同時再建 | 乳房温存 | 腫瘍摘出 | 再発腫瘍 | リンパ節郭清 | 良性腫瘍切除 | リンパ生検 | |
| H27年度 | 155 | 11 | 110 | 9 | 10 | 4 | 6 | 294 |
| H28年度 | 191 | 16 | 105 | 7 | 20 | 2 | 11 | 336 |
| H29年度 | 236 | 19 | 138 | 14 | 9 | 8 | 14 | 433 |

乳腺センターの実績については、ホームページ <https://www.k-shinto.or.jp/service/nyusen/achievement/> よりご覧になれます。

看護研究発表会

平成30年8月3日に看護研究発表会を開催しました。看護の質向上を目的に各部署で看護研究に取り組んでいます。昨年・一昨年は、震災と病院移転により開催することができませんでした。今年は看護部の目標に掲げ、2年ぶりに発表会を行うことができました。5部署から発表がありそれぞれが現状の課題に即した内容で、発表者も堂々と発表していました。

●発表演題●

「乳がん化学療法IVナース認定制度への取り組み」 3西病棟
「大腸内視鏡検査前日の下剤の違いによる洗浄効果の比較検討」 外来
「皮下埋め込み型ポートの管理に関する看護師の現状調査と課題」 4東病棟
「急性期病院の地域包括ケア病棟における患者の退院に関する不安を調査して」 4西病棟
「A病院外科病棟における術後せん妄の発生率と医療事故発生の現状」 3東病棟



総評で岩橋看護部長より「看護研究は明日への看護へつなげられるもの」という言葉があり、研究を通し日々看護の質の向上に努めることが大切だとあらためて感じました。

[手術室看護師長 松原雅子]

「高校生一日看護体験」

若者に看護の魅力を伝え看護職を志望していただく事業として熊本県看護協会主催の「高校生 1 日看護体験」が開催されました。当院では毎年この事業に協力しており、7月26日・27日に20名の高校生を受け入れました。

参加した高校生は、初めて白衣を着用し最初は緊張していました。担当看護師の指導のもと実際に看護用具に触れ、ベッドメイキングや車椅子、患者様と話をするなど体験。

終了後には、「ぜひ看護師になりたい」「患者様に寄り添うことが大切だと思った」等の感想をいただき、担当者全員感動で胸がいっぱいになりました。短い時間でしたが若い世代の皆さんに看護のすばらしさを伝えられたのではないかと思います。

[副看護部長 野中]



「白川中学校ナイストライ」

白川中学校のお隣に移転したのをきっかけに、昨年よりナイストライ(職場体験)を受け入れています。今年は、9月26日から3日間、4名を受け入れました。



病院で働く様々な職種を知ってもらおうと、リハビリ・病棟・放射線科・栄養管理科・臨床検査科・薬剤部などを、見学・体験してもらいました。

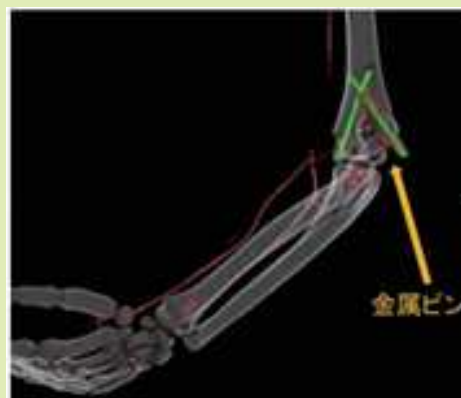
2年目ということで当院職員も興味関心を引き出せる内容をと準備し、受け入れました。



第3回熊本県放射線技師会画像品評会 最優秀賞受賞

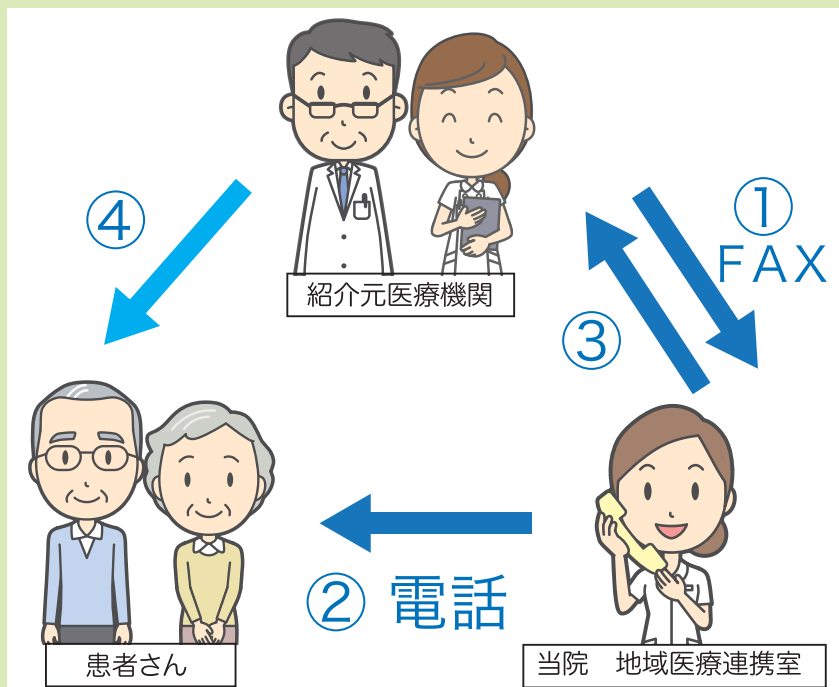
医療技術部放射線科 松本 佳奈

8月25日に開催された第17回熊本県放射線技師会学術大会の中で、第3回熊本県放射線技師会画像品評会が行われ最優秀賞を獲得しました。日々の臨床で工夫して撮影した画像や役に立った画像処理などについての画像のコンテストのようなもので、学術大会に参加した県内の診療放射線技師の投票によって順位が決まります。私は『64列CTにおける小児上肢CTA(骨折ピンニング術後1日目)』について出品しました。当院では珍しい症例でとても苦戦したことを覚えています。今回の画像品評会では「どこの施設でも」「誰が見ても」一目で分かるように撮影条件をまとめることで多くの票を集めることが出来たのではないかと…と思っています。今後もわかりやすい画像作りを心がけたいと思います。



医療機関みなさまへ ご紹介外来予約方法

FAX送付先 地域医療連携室
096-364-8585
受付時間 9:00~16:00(平日のみ)



- ① 外来予約依頼書を当院へFAXください。
- ② 当院より患者さんへ電話をかけ、受診日時を調整いたします。
- ③ 受診予定日が決まったら紹介元医療機関へFAXにてご連絡いたします。
- ④ 患者さんに診療情報提供書をお渡しください。

——— 紹介元医療機関へのごお願い ———

※緊急性が高く、当日受診が必要な患者さんのご紹介は、これまでどおり096-364-6000へお電話ください。

- 受付時間外にいただいたFAXにつきましては、翌診療日に患者さんとの調整を行います。
- 受診希望日は余裕をもった日程でお願いいたします。
- 予約がなく受診された場合は、診療科によっては長時間お待ちいただく場合がございます。特に、皮膚科・肝臓消化器内科については待ち時間が長くなっております。ご了承ください。

患者さまへ 予約センターのご案内

再診の予約を取りたい、予約を変更したいとき

予約センター(☎096-364-9090)

にお電話ください

予約センター受付時間 9:00~16:00(平日のみ)

- ・お電話の際は、受診希望日に余裕をもっておかけください。
- ・CT、MRI、胃カメラ、大腸ファイバーなどの検査を予定されている場合、診察と検査を同じ日に予約変更できない場合もございます。
- ・予約時刻より大幅に早くご来院されても予約時刻順に診察、検査をいたします。
- ・予約時間を過ぎてのご来院は、順番が後になります。